

令和3年12月3日（金）

山本一太群馬県知事

定例記者会見

# 本日の主な項目

- **新型コロナ ガイドライン改訂**
- **県営ワクチン接種センター設置**
- **豚熱（CSF）の緊急対策**

# ガイドライン改訂の背景

## 状況の変化

- ◆ ワクチン接種率向上  
(2回接種完了)
- ◆ 医療提供体制充実  
(病床・治療薬確保)



## 国の動き

- ◆ 新たなレベル分類  
(分科会提言)
- ◆ 基本的対処方針変更  
(政府本部会議)

# 改訂のポイント

1

## 警戒度の見直し

(4段階の「警戒度」から、5段階の「警戒レベル」へ)

2

## 判断基準の見直し

(日々の「感染状況」よりも、「医療のひっ迫状況」を重視へ)

# 「警戒度」の見直し

現行



改訂後

警戒度	警戒レベル	対応方針
1	0 感染者ゼロレベル	厳しい制限は行わない
	1 維持すべきレベル	厳しい制限は行わない
2	2 警戒を強化すべきレベル	十分な注意を促す
3	3 対策を強化すべきレベル	強い対策を講じる (緊急事態宣言・まん延防止等重点措置)
4	4 避けたいレベル	さらに強い措置を講じる

# 想定される要請内容

(ポイントのみ抜粋)

警戒レベル	県民	イベント	事業者	【参考】 県立学校	
0	感染防止対策の徹底	人数制限を行い <b>開催</b>	業種別ガイドラインの遵守	感染防止対策を徹底し、可能な限り通常登校	部活動は一部制限を検討
1					
2	<b>十分注意</b> 〔感染リスクの高い場所 県外移動〕		テレワーク等を強く推奨  直接面会 十分注意 (高齢者施設・病院等)		分散登校等を検討 (オンライン学習活用)  部活動は一部制限を検討
3	<b>一部 外出自粛</b> 〔感染リスクの高い場所 県外移動〕		<b>時短要請・酒類等の提供制限</b>  直接面会 禁止 (高齢者施設・病院等)		分散登校等を検討 (オンライン学習活用)  部活動は 休止を検討
4	日中を含め <b>外出自粛</b>	<b>中止・延期</b>	休業や施設の <b>使用停止</b>		

# 判断基準の見直し <客観的な数値>

項目		従前の基準	見直した基準
1 感染の状況	(1)新規感染者数	平均 <b>20</b> 人/日	平均 <b>40</b> 人/日
	(2)感染経路不明の割合	感染経路不明 <b>50</b> %	感染経路不明 <b>50</b> %
	(3)検査の陽性率	平均 <b>7</b> %	平均 <b>7</b> %
	(4)今週先週比	<b>新規</b> —	<b>1.0</b> 以上が <b>10</b> 日間継続
2 医療逼迫の状況	(1)病床使用率 (558床中)	警戒度4 <b>70</b> %以上 警戒度3 <b>40</b> %以上 警戒度2 <b>15</b> %以上 警戒度1 <b>15</b> %未満	<b>レベル0、1</b> <b>0~30</b> %未満 <b>レベル2</b> <b>30~50</b> %未満 <b>レベル3</b> <b>50</b> %以上 or 3週間後に確保病床到達
	(2)重症病床使用率 (37床中)	①人工呼吸器使用 <b>1 / 2</b> ②うちECMO使用 <b>1 / 3</b>	
	参考	入院率、療養者数、重症者数、中等症者数、 <b>新規</b> 自宅療養者と調整中の合計	—

# 判断基準の見直し <総合的な状況>

## ※修正した項目のみ抜粋

項目		見直し内容
1 感染状況	<b>[新規]</b> ワクチン接種の状況	<b>ワクチンの接種実績を年齢階層別にモニターする</b>
	介護施設等の状況	モニタリングが定着したため割愛
2 医療逼迫状況	院内感染制御	クラスターの発生状況と統合
	疑似症患者への医療等	事例が少ないため、下記の搬送困難事例へ移行
	<b>[新規]</b> 救急搬送困難事案	<b>救急搬送困難事案の増減を週単位でモニターする</b>
	軽症者等の宿泊療養施設の確保等	数値基準でモニターするため削除



社会経済活動再開に向けたガイドライン

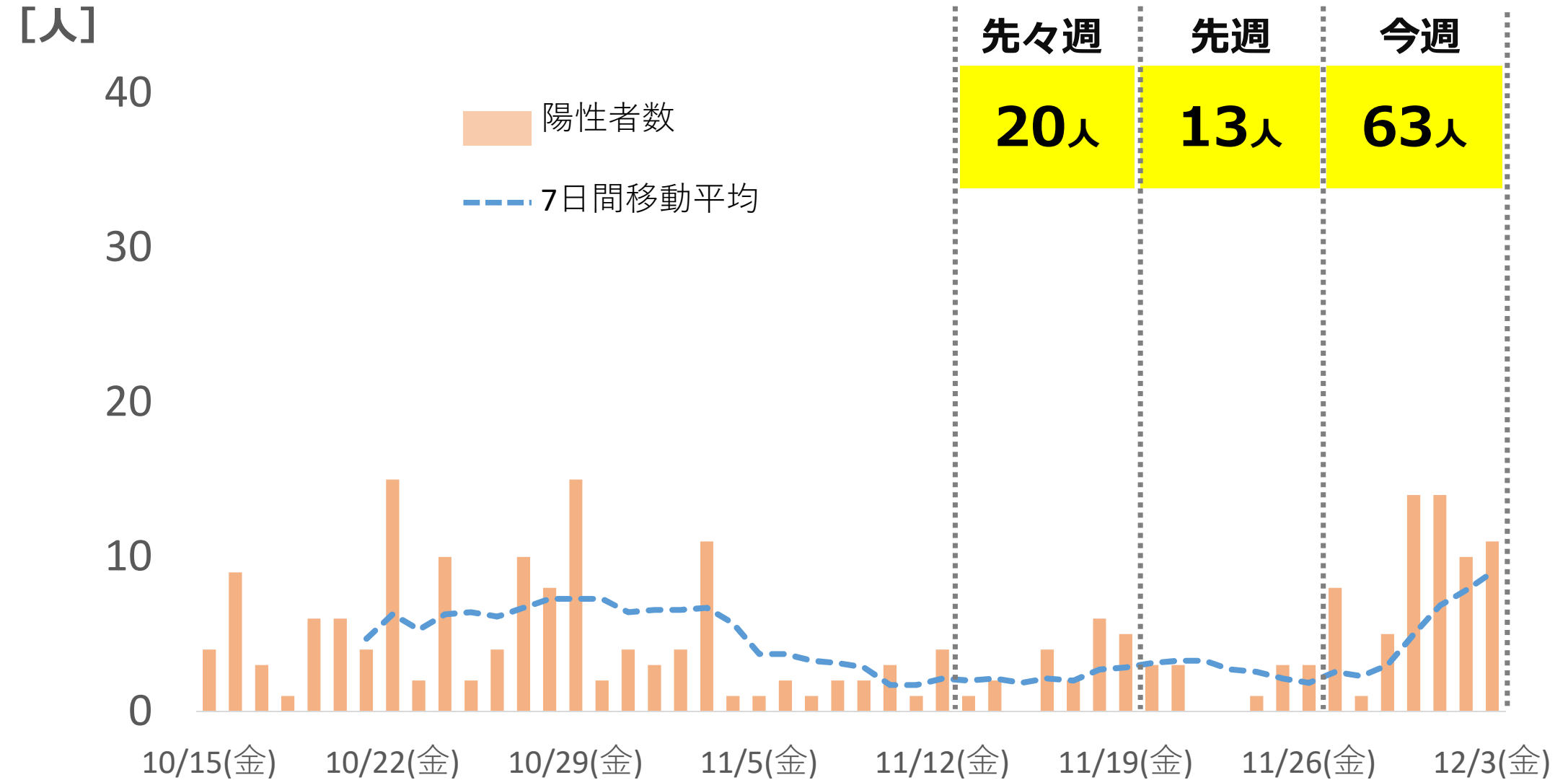
全県

警戒レベル

1

12/4(土) ▶ 12/17(金)

# 新規感染者数の推移



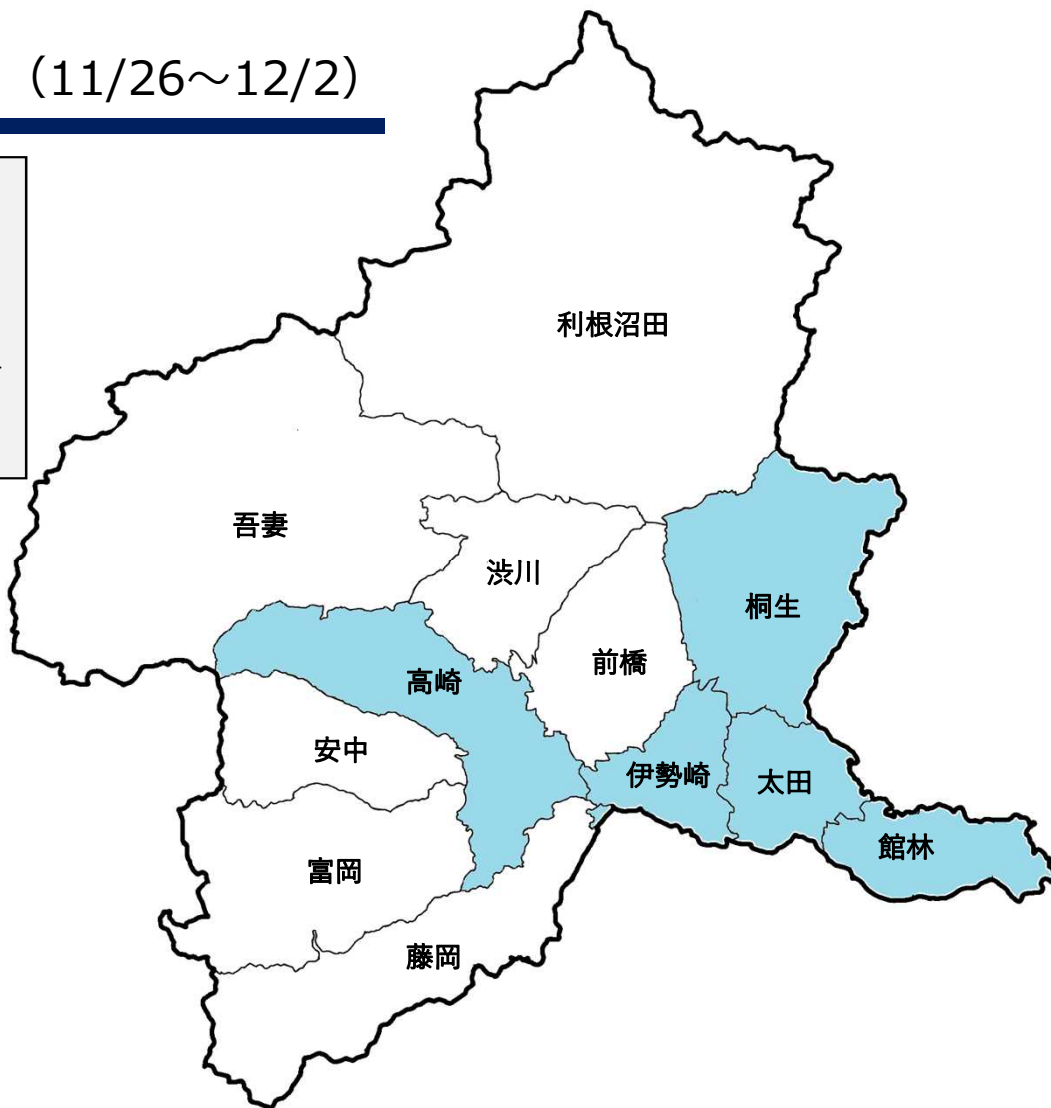
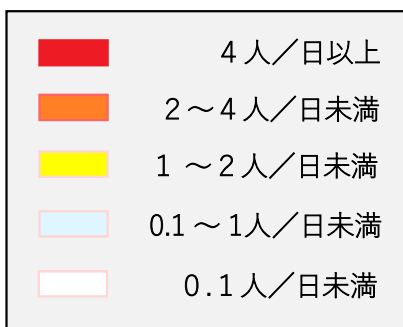
# 警戒レベル移行の判断基準 <客観的な数値>

項目		内容※	現在値※ (12/2)	前回値 (11/25)
1 感染の状況	(1)新規感染者数	平均 40 人/日	7.9人 ↑	2.1人
	(2)感染経路不明の割合	感染経路不明 50%	49.1% ↑	46.7%
	(3)検査の陽性率	平均 7%	1.3% ↑	0.4%
	(4)今週先週比	1.0 以上が 10 日間継続	3.7・3日間継続 ↑	0.8・0日間継続
2 医療逼迫の状況	(1)病床使用率 (558床中)	レベル0、1 0～30%未満	3.8% ↑	0.9%
	(2)重症病床使用率 (37床中)	レベル2 30～50%未満		
	参考	レベル3 50%以上 or3週間後に確保病床到達	5.4% ↑	1.3%
	入院率、療養者数、重症者数、中等症者数、自宅療養者と調整中の合計	【レベル引下げ時】 減少・改善傾向にあること	横ばい	減少・改善傾向

※各判断基準は、現状の医療提供体制を逼迫させないことを基にしているため、今後の体制整備等の進展に合わせ、基準も変動する可能性があります。  
 ※1の(1)～(3)は1週間の移動平均。 ※陽性率は推定値で、民間・病院の検査結果により後日変動します。

# 【保健所管内別】 10万人当たりの新規感染者数

直近 1 週間 (11/26~12/2)



保健所名 (管轄)	新規感染者
太田保健所管内 (太田市)	0.9人/日
桐生保健所管内 (桐生市・みどり市)	0.9人/日
館林保健所管内 (館林市・邑楽郡)	0.9人/日
伊勢崎保健所管内 (伊勢崎市・佐波郡)	0.6人/日
高崎市保健所管内 (高崎市)	0.1人/日
前橋市保健所管内 (前橋市)	0.0人/日
渋川保健所管内 (渋川市・北群馬郡)	0.0人/日
安中保健所管内 (安中市)	0.0人/日
藤岡保健所管内 (藤岡市・多野郡)	0.0人/日
富岡保健所管内 (富岡市・甘楽郡)	0.0人/日
吾妻保健所管内 (吾妻郡)	0.0人/日
利根沼田保健所管内 (沼田市・利根郡)	0.0人/日

# 警戒レベル1における要請

(ポイントのみ抜粋)

個人	事業者	学校
感染防止対策の徹底	業種別ガイドラインの遵守 テレワークの推進	通常登校を継続 部活動は通常活動

ホームパーティー、大人数での会食・飲み会  
十分注意

# オミクロン株への対応について

## 1 県衛生環境研究所における検査体制

ゲノム検査を毎週実施

## 2 入国者のフォローアップ

国と連携し、濃厚接触者、有症状者は、保健所が検査を調整

## 3 法律に基づく適切な対応

入院、退院に係る基準の厳守

# 県営ワクチン接種センターの開設(追加接種)

## 令和4年2月開設(予定)

モデルナ社製ワクチンの使用が可能になり次第、速やかに開設

### 開設場所



**県央**ワクチン  
接種センター

Gメッセ群馬(高崎市)



**東毛**ワクチン  
接種センター

旧葦川西小学校(太田市)

# 県営ワクチン接種センターでの追加接種

## 対象者

**県内に在住・在勤・在学**で**満18歳以上**の方のうち

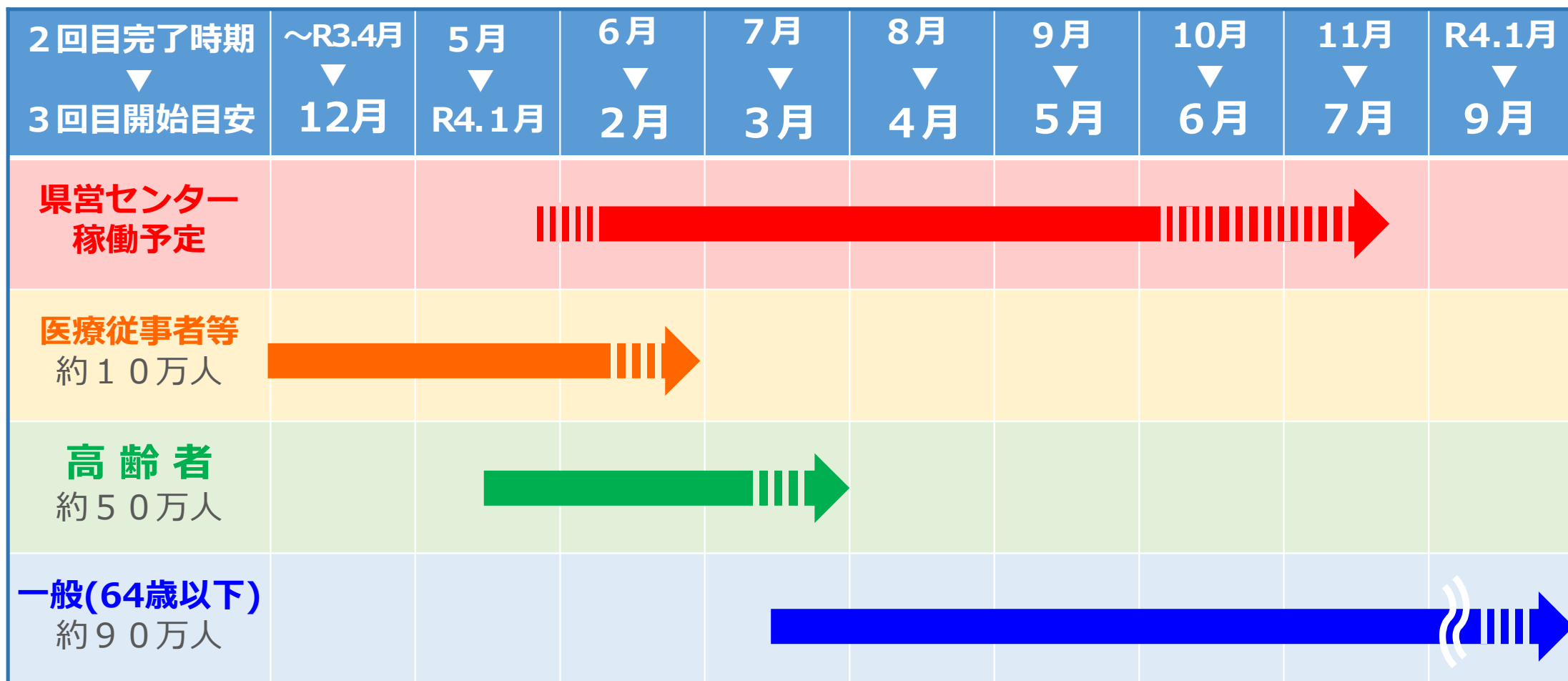
- ① **追加接種者** (交互接種希望者も含む)
- ② **初回接種 (1・2回目接種) 未了者**

## 使用ワクチン

基本的には **モデルナ社製**



# 3回目接種の想定スケジュール



# 豚熱発生農場の防疫措置の進捗状況

< 殺処分 >

**2,632** 頭

11月29日  
終了

< 従事者 >

(殺処分終了時点)

**619** 人

埋却・清掃・消毒作業を実施中

▶ 全ての防疫作業は、**本日（12/3）** 完了見込

# 11月26日の豚熱発生を踏まえた緊急対策

飼養衛生管理の遵守

知事による

**「消毒命令」**

離乳豚舎周囲の消毒徹底を！

# 11月26日の豚熱発生を踏まえた緊急対策

## 野生イノシシ緊急対策

- ・ 経口ワクチンの散布
- ・ 関係市町村長会議の開催

## 子豚へのワクチン接種

- ・ 適期接種(生後30～40日齢含む)を再周知

GIGAスクール構想がもたらす変化とは？

# 「教育のミライ」を考えるトーク

12.8 12:00 配信開始

TALK

## 教育のミライを語る

立命館守山中学校・高等学校 教諭  
加藤 智博



システム・アルファ株式会社  
営業/エバンジェリスト  
青山 侑哉



群馬県教育長  
平田 郁美



GIGAスクール構想  
がもたらす変化



群馬県立沼田女子高等学校 教諭  
吉澤 千恵

# 湯

YUKEMURI FORUM  
GUNMA 2021

新しい公共のあり方とは？

# 「地方行政のDX」を考えるトーク

12.10 | 2:00 配信開始

TALK

## 地方行政 における DX実践

新しい  
公共のために。

編集者・黒鳥社コンテンツディレクター  
若林 恵



群馬県デジタル推進監  
岡田 亜衣子



コードフォーージャパン代表理事  
デジタル庁プロジェクトマネージャー  
関 治之



高崎経済大学 地域政策学部教授  
友岡 邦之



湯

YUKEMURI FORUM  
GUNMA 2021

地方メディアの第一人者3名が語る  
「ローカルメディア」を考えるトーク

12.17 | 2:00 配信開始

TALK

ローカル  
メディアの  
いまとこれから

地域に必要な  
『編集』とは？

未来をつくるSDGsマガジン  
『ソトコト』編集長  
指出 一正



地元メディア『ジモコロ』編集長  
株式会社Huuuu代表取締役

徳谷 柿次郎



地域編集者  
有限会社りす代表  
藤本 智士



湯  
YUKEMURI FORUM  
GUNMA 2021